

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009年11月8日現在

概況 ワシントン州東部の11月8日に終る1週間は、降雨が続きEC地区では平年より多少高めの気温、SE地区では平年より低目の気温の気象であった。降雨は各地で観られ、1週間の降水量はEC地区では0.11~0.17インチ、SE地区では0.04~0.34インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.3日(前週:4.1日)であった。Topsoilの土壌水分は前週より更に“Surplus”が増加した。Subsoilの水分は略5年平均の水準より良くなった。2010年産冬小麦の播種は、全州にて完了し、90%にて出芽した。出芽は例年より早い進捗であった。土壌水分と気温に恵まれ、出芽後の小麦の生育は順調であった。Walla Walla郡では、この週は前週より気温が下がり、小麦の生育が多少鈍った。Whitman郡では気温が穏やかであった為の冬小麦の出芽が促進された。NC地区の小麦の作柄は前週より改善し、SE地区特にWalla Walla郡の小麦の作柄評価が多少落ちた。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	9	14	46	31
	5-Yr Ave.	5	16	61	18
Subsoil	This week	18	25	55	2
	5-Yr Ave.	14	33	50	4
Irrigation	This week	0	2	97	1
	5-Yr Ave.	2	5	92	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Planted	100	99	99	100
Emerged	90	82	74	88

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	3	6	43	42	6
Last week	3	6	38	54	2

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.